

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ぽっぽハウス① (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		~ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日		~ 2025年 10月 21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放課後等デイサービス事業所と多機能型として運営しています。また、学年が上がることで同じ法人内で別の事業所に移動し利用することで、長期的な目線で将来に向けた一貫性のある支援を提供することができます。	長く放課後等デイサービス事業所を行っている経験から就学時に大切に必要ことを提案し、育みます。また、多機能型で運営していますので、就学しても放課後等デイサービスの職員と場所が同じなので戸惑うことなく安心して過ごせます。	こども一人一人の障がいの状態及び発達の過程・特性に応じた支援を提供していきます。
2	5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」に基づいた支援を行っています。	支援プログラムは、個々の特性等や発達の状況を考えて作成し、活動の提供をしています。さらに、専門職による姿勢や運動・動作などの基本的技能、コミュニケーションの基礎的能力を養います。	ひとりひとりニーズに応じた支援を提供できるように、丁寧に対応していきます。
3	保護者への支援内容の報告を丁寧に行っています。	支援後、保護者に会えないときにはメール等で内容や様子を伝えています。	内容や様子を伝えるだけでなく、その後の様子や変化などを聴き取り保護者の思いや要望をくみ取り、支援につなげていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流がありません。	就労している保護者が多く、開催時間などの設定に難しさを感じています。	参観日や茶話会など、保護者が参加できる行事を提案していければと思います。
2	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、面談や助言を行っていますが、定期的には行えてません。	家族等から連絡をいただいたときは、必ず相談に応じていますが、定期的に行うには就労している保護者が多く難しさを感じています。	今後は保護者の負担にならない設定で、定期的に行うよう取り組んでいければと考えています。ご家族の意向を聞き取り家族への支援を通じたこどもの暮らしや育ちの安定につなげます。
3			